

入学試験問題



地理歴史

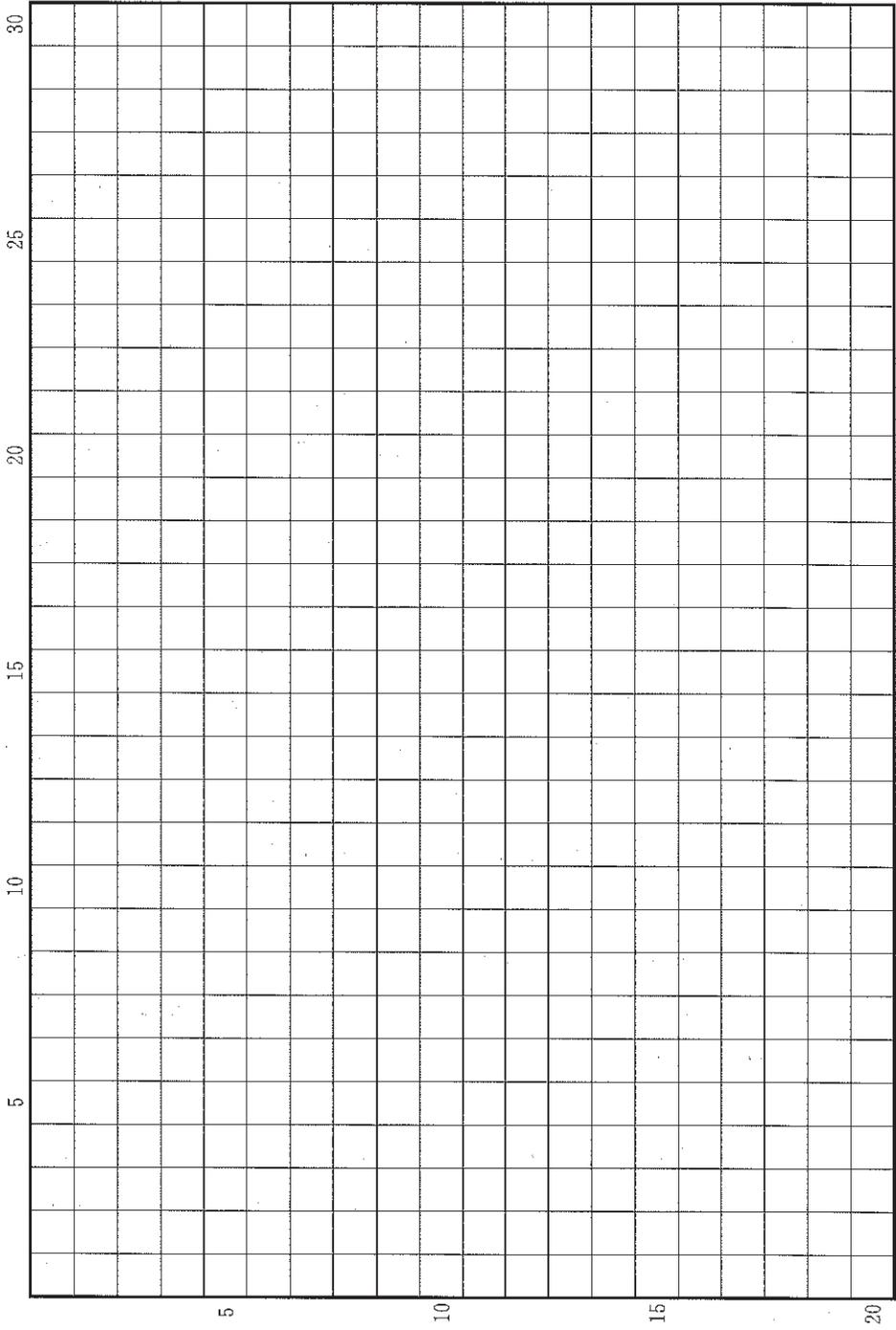
(配点 120 点)

令和 2 年 2 月 26 日 9 時 30 分—12 時

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 この問題冊子は全部で 47 ページあります(本文は日本史 4 問 4～13 ページ、世界史 3 問 14～27 ページ、地理 3 問 28～47 ページ)。
落丁、乱丁または印刷不鮮明の箇所があったら、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 日本史、世界史、地理のうちから、あらかじめ届け出た 2 科目について解答しなさい。
- 4 解答には、必ず黒色鉛筆(または黒色シャープペンシル)を使用しなさい。
- 5 解答は、1 科目につき 1 枚の解答用紙を使用しなさい。
- 6 解答用紙の指定欄に、受験番号(表面 2 箇所、裏面 1 箇所)、科類、氏名を記入しなさい。指定欄以外にこれらを記入してはいけません。
- 7 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 8 解答用紙表面上方の指定された()内に、その用紙で解答する科目名を記入しなさい。
- 9 解答用紙表面の上部にある切り取り欄のうち、その用紙で解答する科目の分のみ 1 箇所をミシン目に沿って正しく切り取りなさい。
- 10 解答用紙の解答欄に、関係のない文字、記号、符号などを記入してはいけません。また、解答用紙の欄外の余白には、何も書いてはいけません。
- 11 この問題冊子の余白は、草稿用に使用してもよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 12 解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 13 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



日 本 史

第 1 問

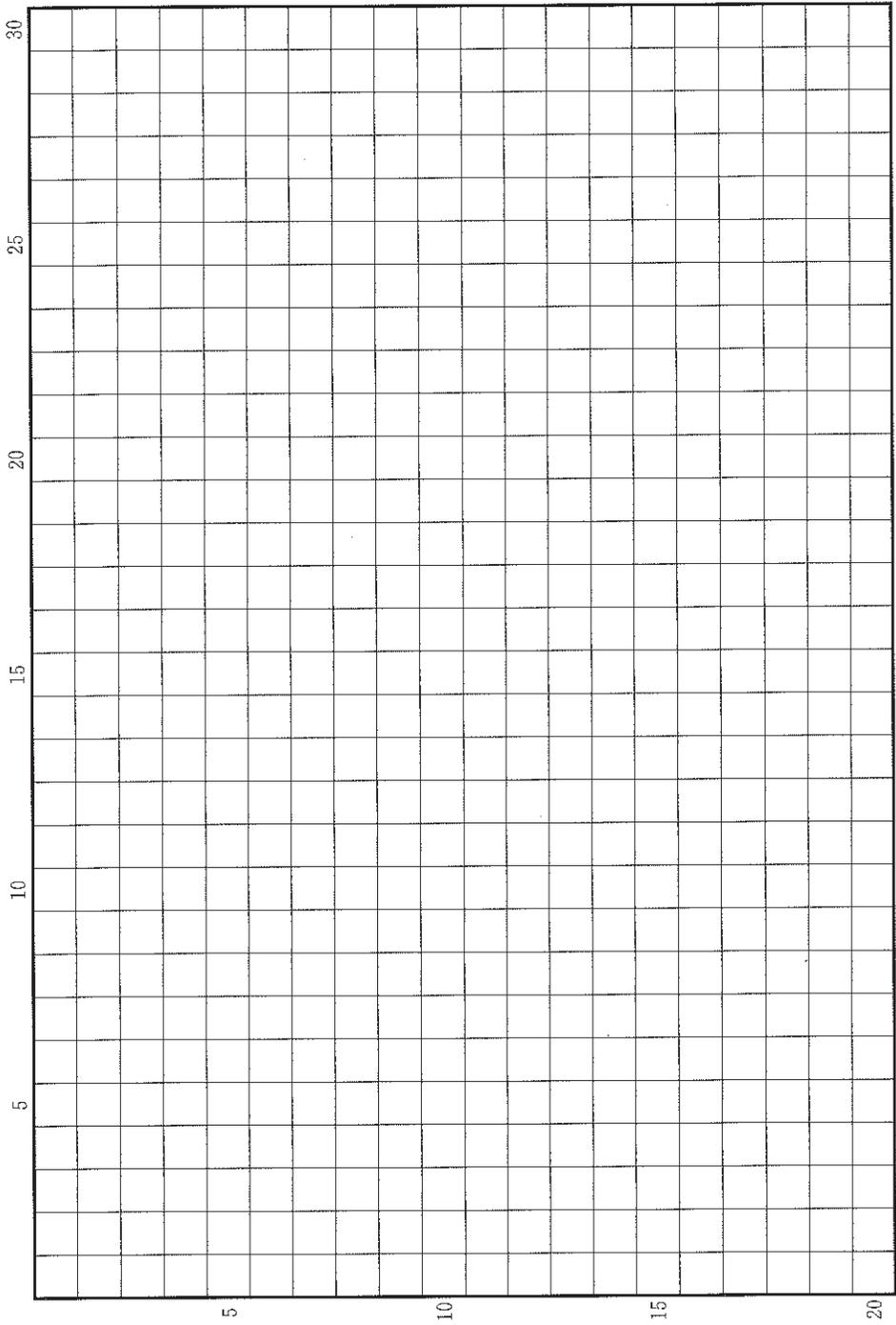
次の(1)～(5)の文章を読んで、下記の設問A・Bに答えなさい。解答は、解答用紙(イ)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入しなさい。

- (1) 『千字文』は6世紀前半に、初学の教科書として、書聖と称された王羲之^{おうぎし}の筆跡を集め、千字の漢字を四字句に綴ったものと言われる。習字の手本としても利用され、『古事記』によれば、百済から『論語』とともに倭国に伝えられたという。
- (2) 唐の皇帝太宗は、王羲之の書を好み、模本(複製)をたくさん作らせた。遣唐使はそれらを下賜され、持ち帰ったと推測される。
- (3) 大宝令では、中央に大学、地方に国学が置かれ、『論語』が共通の教科書とされていた。大学寮には書博士が置かれ、書学生もいた。長屋王家にも「書法模人」という書の手本を模写する人が存在したらしい。天平年間には国家事業としての写経所が設立され、多くの写経生が仏典の書写に従事していた。
- (4) 律令国家は6年に1回、戸籍を国府で3通作成した。また地方から貢納される調は、郡家で郡司らが計帳などと照合し、貢進者・品名・量などを墨書した木簡がくり付けられて、都に送られた。
- (5) 756年に聖武天皇の遺愛の品を東大寺大仏に奉獻した宝物目録には、王羲之の真筆や手本があったと記されている。光明皇后が王羲之の書を模写したという「楽毅論」^{がっきろん}も正倉院に伝来している。平安時代の初めに留学した空海・橘逸勢も唐代の書を通して王羲之の書法を学んだという。

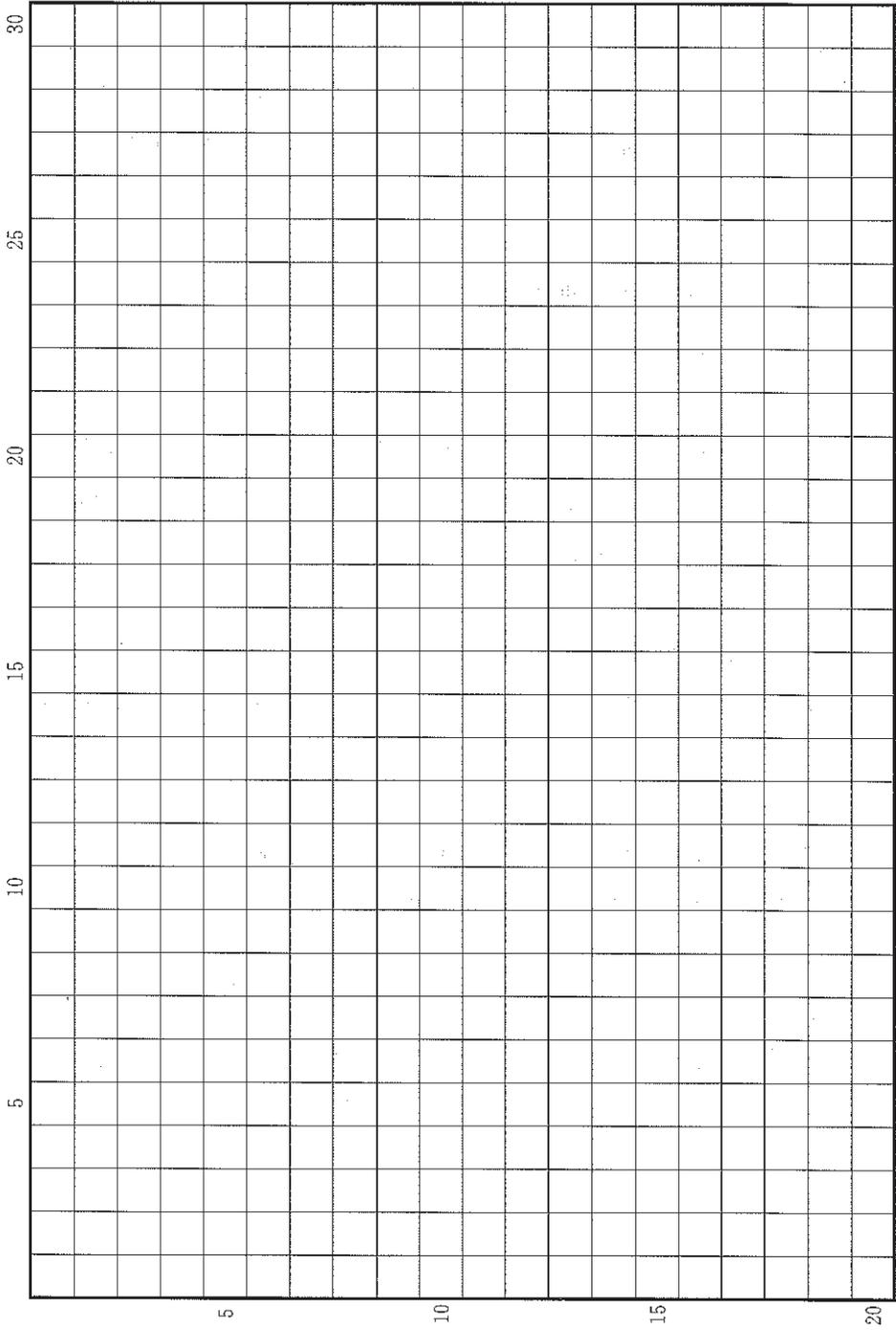
設 問

- A 中央の都城や地方の官衙から出土する8世紀の木簡には、『千字文』や『論語』の文章の一部が多くみられる。その理由を2行以内で述べなさい。
- B 中国大陸から毛筆による書が日本列島に伝えられ、定着していく。その過程において、唐を中心とした東アジアの中で、律令国家や天皇家が果たした役割を4行以内で具体的に述べなさい。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 2 問

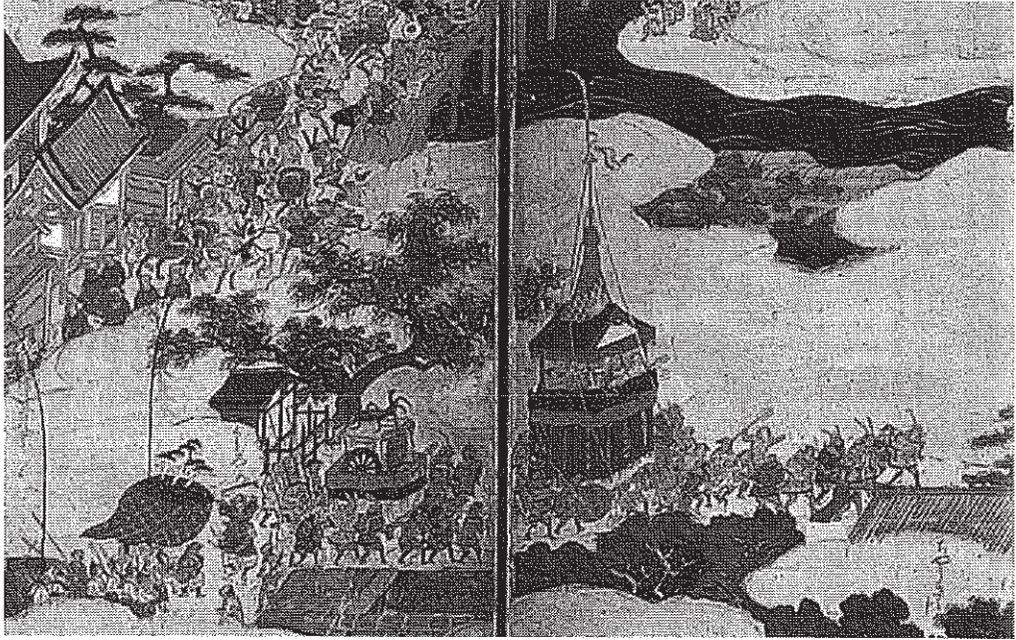
京都の夏の風物詩である祇園祭で行われる山鉾じゆんこう巡行は、数十基の山鉾が京中を練り歩く華麗な行事として知られる。16 世紀の山鉾巡行に関する次の(1)~(4)の文章を読んで、下記の設問に答えなさい。解答は、解答用紙(口)の欄に記入しなさい。

- (1) 1533 年、祇園祭を延期するよう室町幕府が命じると、下京の六十六町の月行事たちは、山鉾の巡行は行いたいと主張した。
- (2) 下京の各町では、祇園祭の山鉾を確実に用意するため、他町の者へ土地を売却することを禁じるよう幕府に求めたり、町の住人に賦課された「祇園会出銭」から「山の綱引き賃」を支出したりした。
- (3) 上杉本『洛中洛外図屏風』に描かれている山鉾巡行の場面をみると(図 1)、人々に綱で引かれて長刀鉾ながなたぼこが右方向へと進み、蟻螂どうろう(かまきり)山、傘鉾やま かさぼこがあとに続いている。
- (4) 現代の京都市街図をみると(図 2)、通りをはさむように町名が連なっている。そのなかには、16 世紀にさかのぼる町名もみえる。

設 問

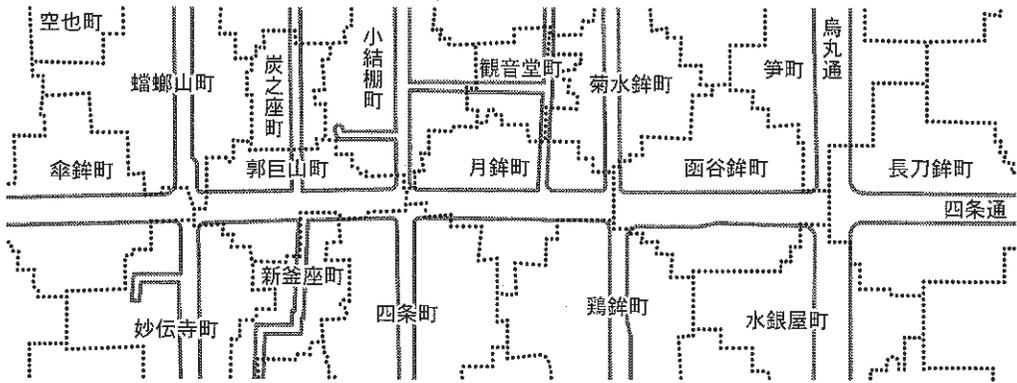
16 世紀において、山鉾はどのように運営され、それは町の自治のあり方にもどのように影響したのか。5 行以内で述べなさい。

図 1



(『国宝 上杉本 洛中洛外図屏風』米沢市上杉博物館より)

図 2



.....は町の境界である。

第 3 問

次の(1)~(5)の文章を読んで、下記の設問 A・B に答えなさい。解答は、解答用紙 (ハ) の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入しなさい。

- (1) 日本では古代国家が採用した唐の暦が長く用いられていた。渋川春海は元の暦をもとに、明で作られた世界地図もみて、中国と日本(京都)の経度の違いを検討し、新たな暦を考えた。江戸幕府はこれを採用し、天体観測や暦作りを行う天文方を設置して、渋川春海を初代に任じた。
- (2) 朝廷は幕府の申し入れをうけて、1684年に暦を改める儀式を行い、渋川春海の新たな暦を貞享暦と命名した。幕府は翌1685年から貞享暦を全国で施行した。この手順は江戸時代を通じて変わらなかった。
- (3) 西洋天文学の基礎を記した清の書物『天経或問』は、「禁書であったが内容は有益である」と幕府が判断して、1730年に刊行が許可され、広く読まれるようになった。
- (4) 1755年から幕府が施行した宝暦暦は、公家の土御門泰邦が幕府に働きかけて作成を主導したが、1763年の日食の予測に失敗した。大坂の麻田剛立ら各地の天文学者が事前に警告した通りで、幕府は天文方に人員を補充して暦の修正に当たらせ、以後天文方の学術面での強化を進めていった。
- (5) 麻田剛立の弟子高橋至時は幕府天文方に登用され、清で編まれた西洋天文学の書物をもとに、1797年に寛政暦を作った。天文方を継いだ高橋至時の子渋川景佑は、オランダ語の天文学書の翻訳を完成し、これを活かして1842年に天保暦を作った。

A 江戸時代に暦を改めるに際して、幕府と朝廷はそれぞれどのような役割を果たしたか。両者を対比させて、2行以内で述べなさい。

B 江戸時代に暦を改める際に依拠した知識は、どのように推移したか。幕府の学問に対する政策とその影響に留意して、3行以内で述べなさい。

第 4 問

次の(1)・(2)の文章は、軍人が実践すべき道徳を論じた明治時代の史料から、一部を抜き出して現代語訳したものである。これを読んで、下記の設問 A・B に答えなさい。解答は、解答用紙(二)の欄に、設問ごとに改行し、設問の記号を付して記入しなさい。

- (1) 維新以後の世の風潮の一つに「民権家風」があるが、軍人はこれに染まることを避けなくてはならない。軍人は大元帥である天皇を戴き、あくまでも上下の序列を重んじて、命令に服従すべきである。いま政府はかつての幕府に見られた専権圧制の体制を脱し、人民の自治・自由の精神を鼓舞しようとしており、一般人民がそれに呼応するのは当然であるが、軍人は別であるべきだ。

(西周「兵家徳行」第4回, 1878年5月。陸軍将校に対する講演の記録)

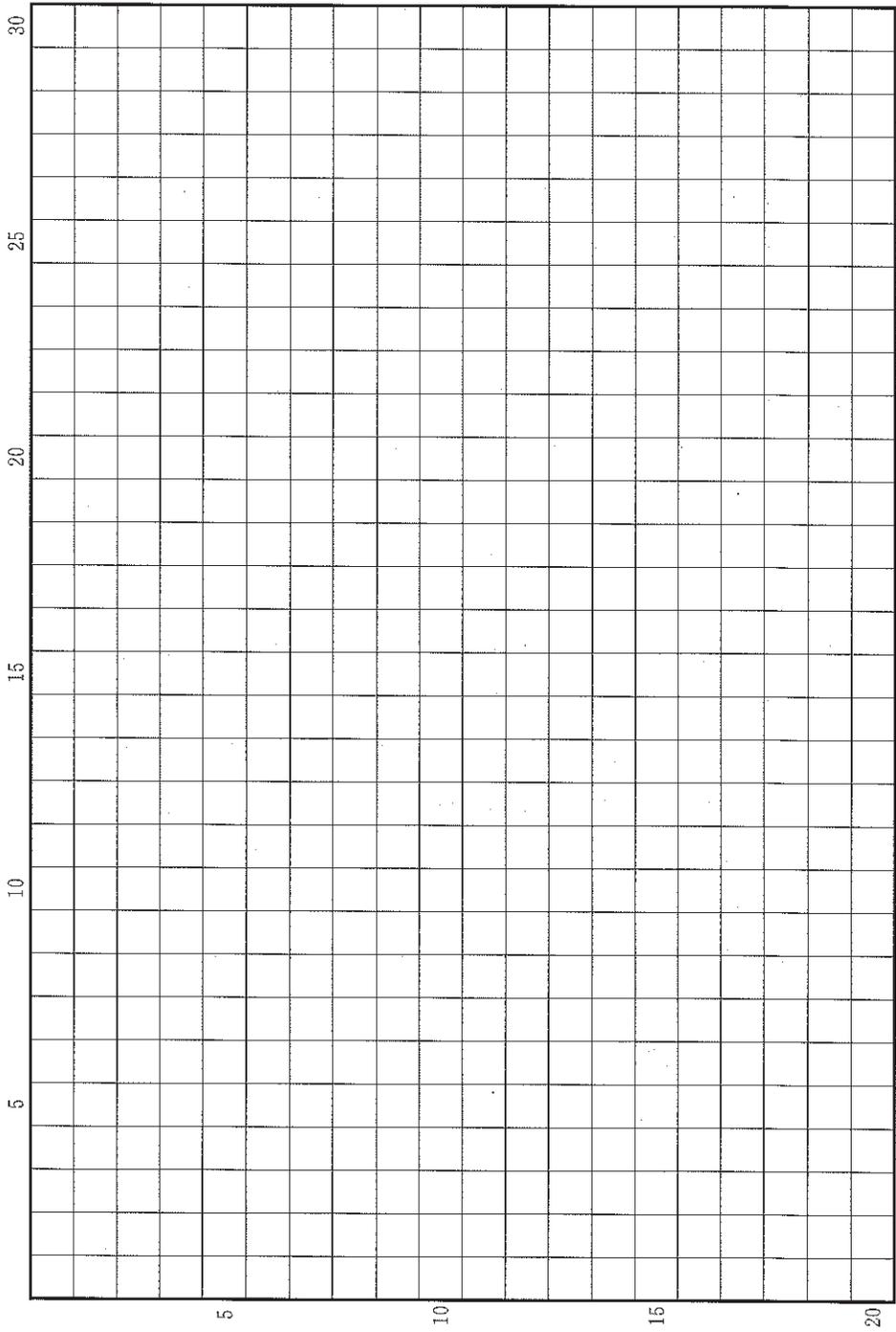
- (2) 軍人は忠節を尽くすことを本分とすべきである。兵力の消長はそのまま国運の盛衰となることをわきまえ、世論に惑わず、政治に関わらず、ひたすら忠節を守れ。それを守れず汚名を受けることのないようにせよ。

(「軍人勅諭」1882年1月)

設 問

- A (1)の主張の背景にある、当時の政府の方針と社会の情勢について、3行以内で述べなさい。
- B (2)のような規律を掲げた政府の意図はどのようなものだったか。当時の国内政治の状況に即しながら、3行以内で述べなさい。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



世界史

第 1 問

国際関係にはさまざまな形式があり、それは国家間の関係を規定するだけでなく、各国の国内支配とも密接な関わりを持っている。近代以前の東アジアにおいて、中国王朝とその近隣諸国が取り結んだ国際関係の形式は、その一つである。ここでは、近隣諸国の君主は中国王朝の皇帝に対して臣下の礼をとる形で関係を取り結んだが、それは現実において従属関係を意味していたわけではない。また国内的には、それぞれがその関係を、自らの支配の強化に利用したり異なる説明で正当化したりしていた。しかし、このような関係は、ヨーロッパで形づくられた国際関係が近代になって持ち込まれてくると、現実と理念の両面で変容を余儀なくされることになる。

以上のことを踏まえて、15世紀頃から19世紀末までの時期における、東アジアの伝統的な国際関係のあり方と近代におけるその変容について、朝鮮とベトナムの事例を中心に、具体的に記述しなさい。解答は、解答欄(イ)に20行以内で記述しなさい。その際、次の6つの語句を必ず一度は用いて、その語句に下線を付しなさい。また、下の史料A～Cを読んで、例えば、「○○は××だった(史料A)。」や、「史料Bに記されているように、○○が××した。」などといった形で史料番号を挙げて、論述内容の事例として、それぞれ必ず一度は用いなさい。

薩摩	下関条約	小中華
条約	清仏戦争	朝貢

史料A

なぜ、(私は)今なお崇禎^{すうてい}という年号を使うのか。清人^{しん}が中国に入って主となり、古代の聖王の制度は彼らのものに変えられてしまった。その東方の数千里の国土を持つわが朝鮮が、鴨緑江を境として国を立て、古代の聖王の制度を独り守っているのは明らかである。(中略)崇禎百五十六年(1780年)、記す。

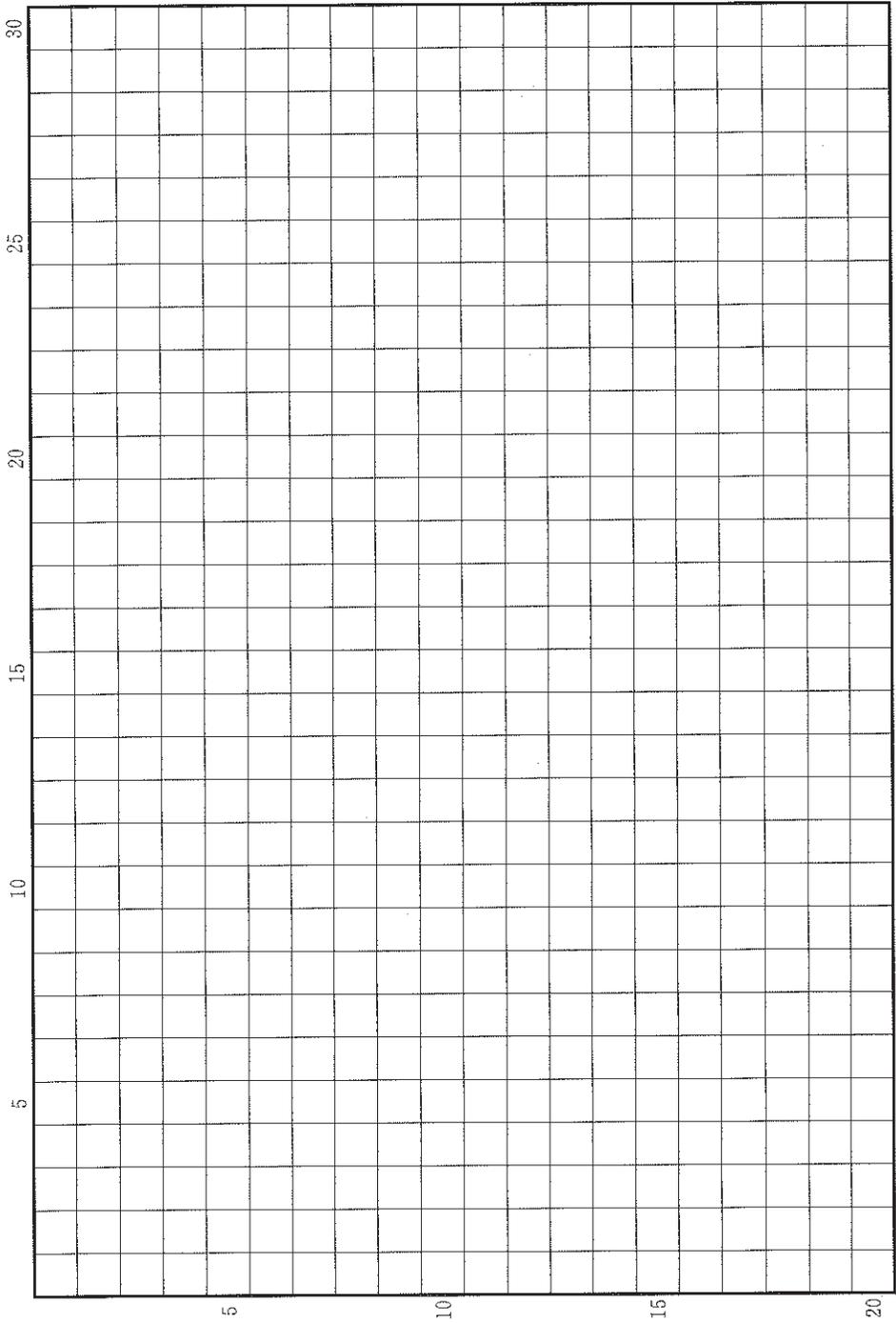
史料B

1875年から1878年までの間においても、わが国(フランス)の総督や領事や外交官たちの眼前で、フエの宮廷は何のためらいもなく使節団を送り出した。そのような使節団を3年ごとに北京に派遣して清に服従の意を示すのが、この宮廷の慣習であった。

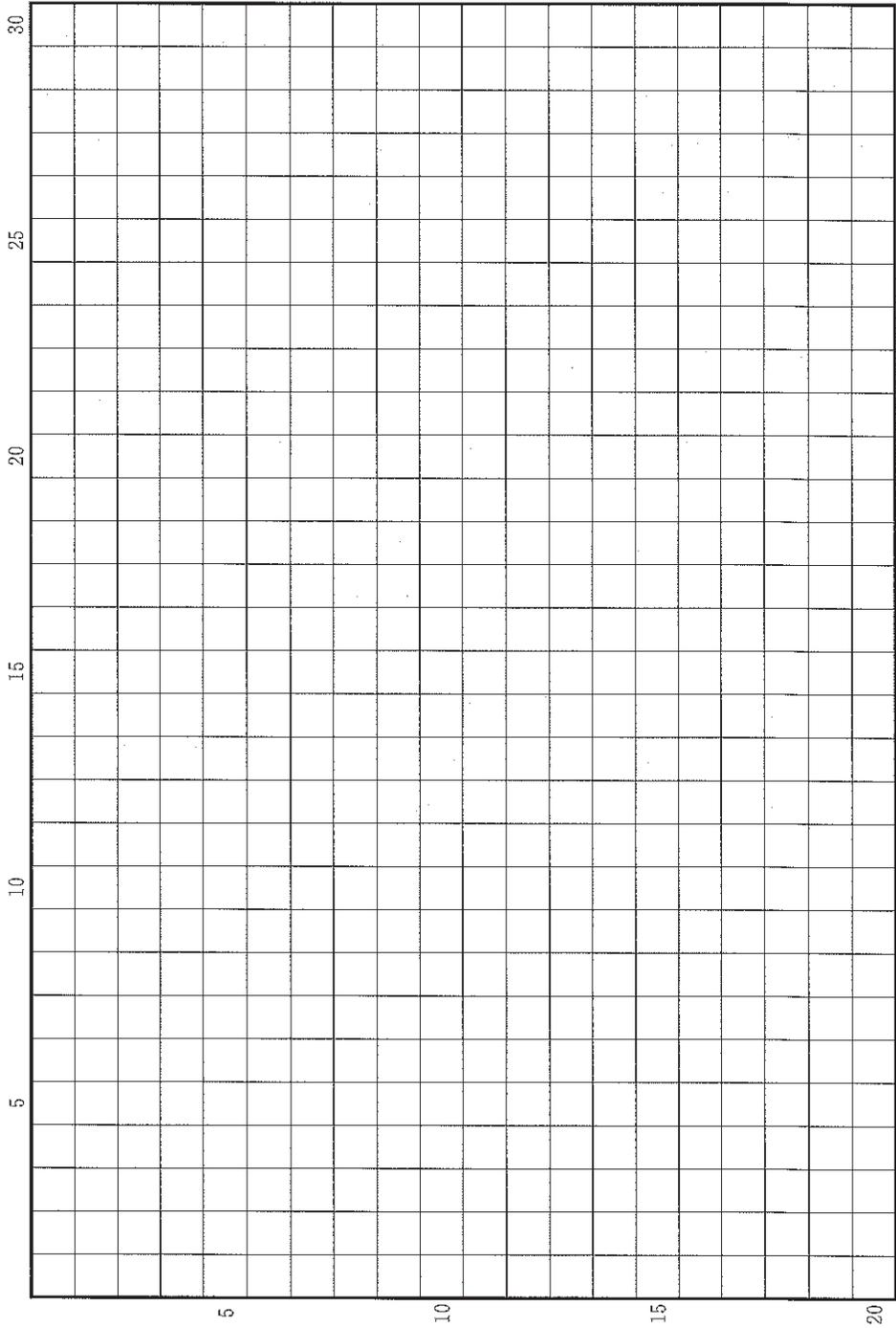
史料C

琉球国は南海の恵まれた地域に立地しており、朝鮮の豊かな文化を一手に集め、明とは上下のあごのような、日本とは唇と歯のような密接な関係にある。この二つの中間にある琉球は、まさに理想郷といえよう。貿易船を操って諸外国との間の架け橋となり、異国の珍品・至宝が国中に満ちあふれている。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 2 問

異なる文化に属する人々の移動や接触が活発になることは、より多様性のある豊かな文化を生む一方で、民族の対立や衝突に結びつくこともあった。民族の対立や共存に関する以下の 3 つの設問に答えなさい。解答は、解答欄(口)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(3)の番号を付して記しなさい。

問(1) 大陸に位置する中国では、古くからさまざまな文化をもつ人々間の交流がさかんであり、民族を固有のものとする意識は強くなかった。しかし、近代に入ると、中国でも日本や欧米列強との対抗を通じて民族意識が強まっていった。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) 漢の武帝の時代、中国の北辺の支配をめぐる激しい攻防を繰り返した騎馬遊牧民国家の前 3 世紀末頃の状況について、2 行以内で記しなさい。

(b) 清末には、漢民族自立の気運がおこる一方で、清朝の下にあったモンゴルやチベットでも独立の気運が高まった。辛亥革命前後のモンゴルとチベットの独立の動きについて、3 行以内で記しなさい。

問(2) 近代に入ると、西洋列強の進出によって、さまざまな形の植民地支配が広がった。その下では、多様な差別や搾取があり、それに対する抵抗があった。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

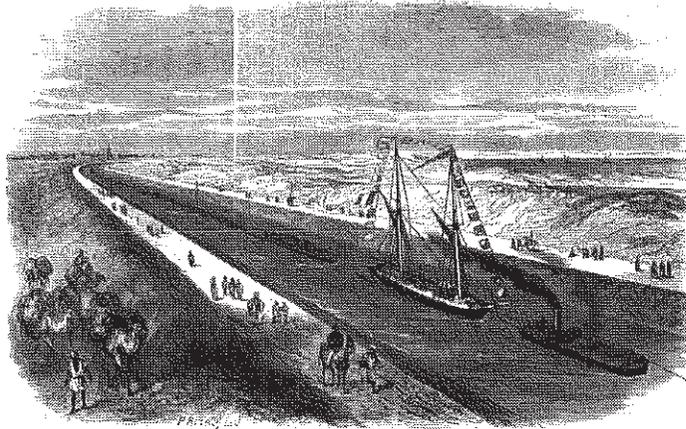


図 版

(a) 図版は、19世紀後半の世界の一体化を進める画期となった一大工事を描いたものである。その施設を含む地域は、1922年に王国として独立した。どこで何が造られたかを明らかにし、その完成から20年程の間のその地域に対するイギリスの関与とそれに対する反発とを、4行以内で記しなさい。

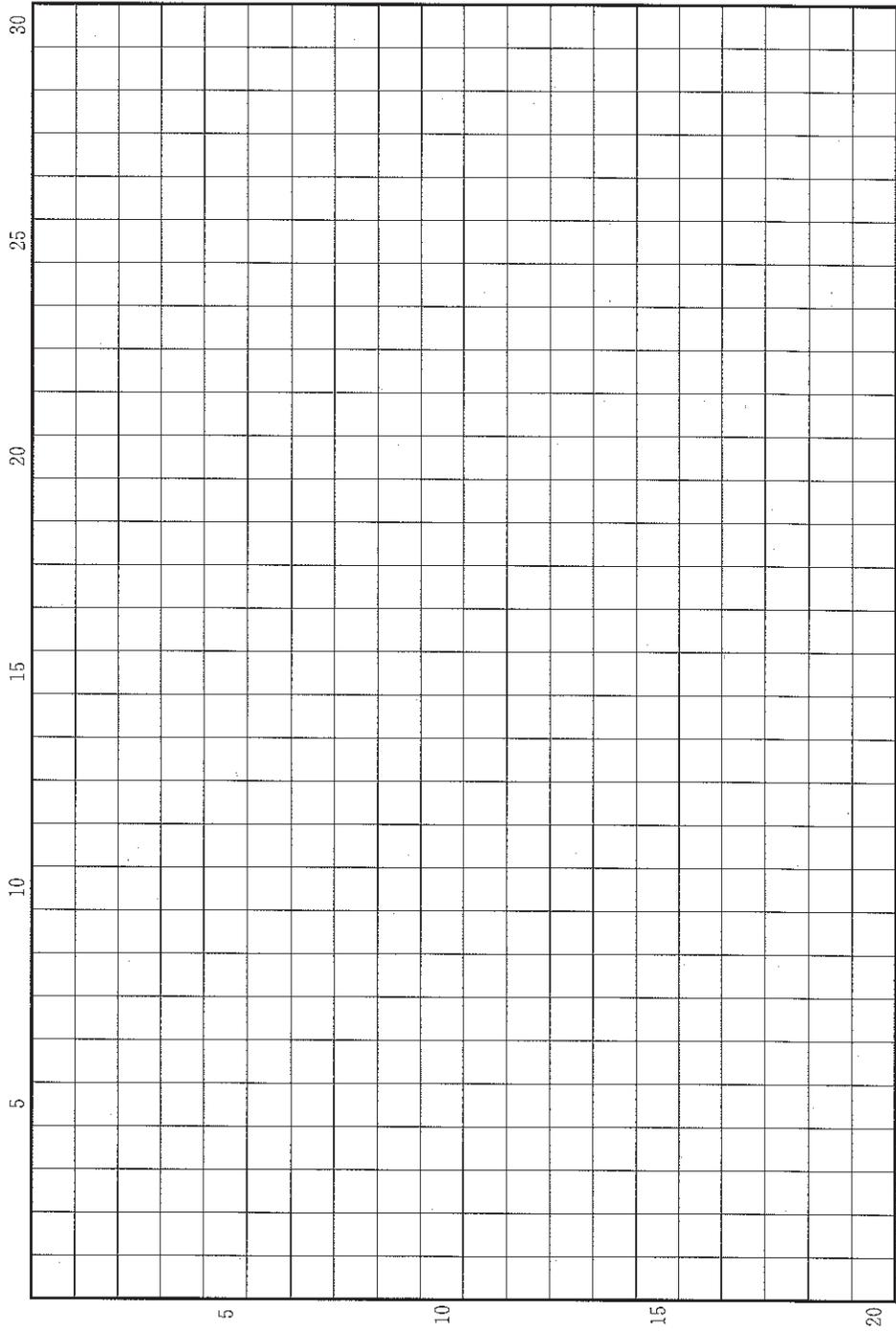
(b) オーストラリアは、ヨーロッパから最も遠く離れた植民地の一つであった。現在では多民族主義・多文化主義の国であるが、1970年代までは白人中心主義がとられてきた。ヨーロッパ人の入植の経緯と白人中心主義が形成された過程とを、2行以内で記しなさい。

問(3) 移民の国と言われるアメリカ合衆国では、移民社会特有の文化や社会的多様性が生まれたが、同時に、移民はしばしば排斥の対象ともなった。これに関する以下の(a)・(b)の問いに、冒頭に(a)・(b)を付して答えなさい。

(a) 第一次世界大戦後、1920年代のアメリカ合衆国では、移民や黒人に対する排斥運動が活発化した。これらの運動やそれに関わる政策の概要を、3行以内で記しなさい。

(b) アメリカ合衆国は、戦争による領土の拡大や併合によっても多様な住民を抱えることになった。このうち、1846年に開始された戦争の名、およびその戦争の経緯について、2行以内で記しなさい。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 3 問

人間は言語を用いることによってその時代や地域に応じた思想を生みだし、またその思想は、人間ないし人間集団のあり方を変化させる原動力ともなった。このことに関連する以下の設問(1)~(10)に答えなさい。解答は、解答欄(ハ)を用い、設問ごとに行を改め、冒頭に(1)~(10)の番号を付して記しなさい。

問(1) 古代ギリシアの都市国家では、前7世紀に入ると、経済的格差や参政権の不平等といった問題があらわになりはじめた。ギリシア七賢人の一人に数えられ、前6世紀初頭のアテネで貴族と平民の調停者に選ばれて、さまざまな社会的・政治的改革を断行した思想家の名を記しなさい。

問(2) この思想集団は孔子を開祖とする学派を批判し、人をその身分や血縁に関係なく任用しかつ愛するよう唱える一方で、指導者に対して絶対的服従を強いる結束の固い組織でもあった。この集団は秦漢時代以降消え去り、清代以後その思想が見直された。この思想集団の名を記しなさい。

問(3) キリスト教徒によるレコンキスタの結果、イスラーム教勢力は1492年までにイベリア半島から駆逐された。その過程で、8世紀後半に建造された大モスクが、13世紀にキリスト教の大聖堂に転用された。この建造物が残り、後ウマイヤ朝の首都として知られる、イベリア半島の都市の名を記しなさい。

問(4) 10世紀頃から、イスラーム教が普及した地域では、修行などによって神との一体感を求めようとする神秘主義がさかんになった。その後、12世紀頃から神秘主義教団が生まれ、民衆の支持を獲得した。その過程で、神秘主義を理論化し、スンナ派の神学体系の中に位置づけるなど、神秘主義の発展に貢献したことで知られる、セルジューク朝時代に活躍したスンナ派学者の名を記しなさい。

問(5) 華北では金代になると、道教におけるそれまでの主流を批判して道教の革新をはかり、儒・仏・道の三教の融合をめざす教団が成立した。これは華北を中心に勢力を広げ、モンゴルのフビライの保護を受けるなどして、後の時代まで道教を二分する教団の一つとなった。この教団の名を記しなさい。

問(6) アラビア半島で誕生したイスラーム教は西アフリカにまで広がり、13世紀以降には、ムスリムを支配者とするマリ王国やソングイ王国などが成立し、金などの交易で繁栄した。両王国の時代の中心的都市として知られ、交易の中心地としてだけでなく、学術の中心地としても栄えたニジェール川中流域の都市の名を記しなさい。

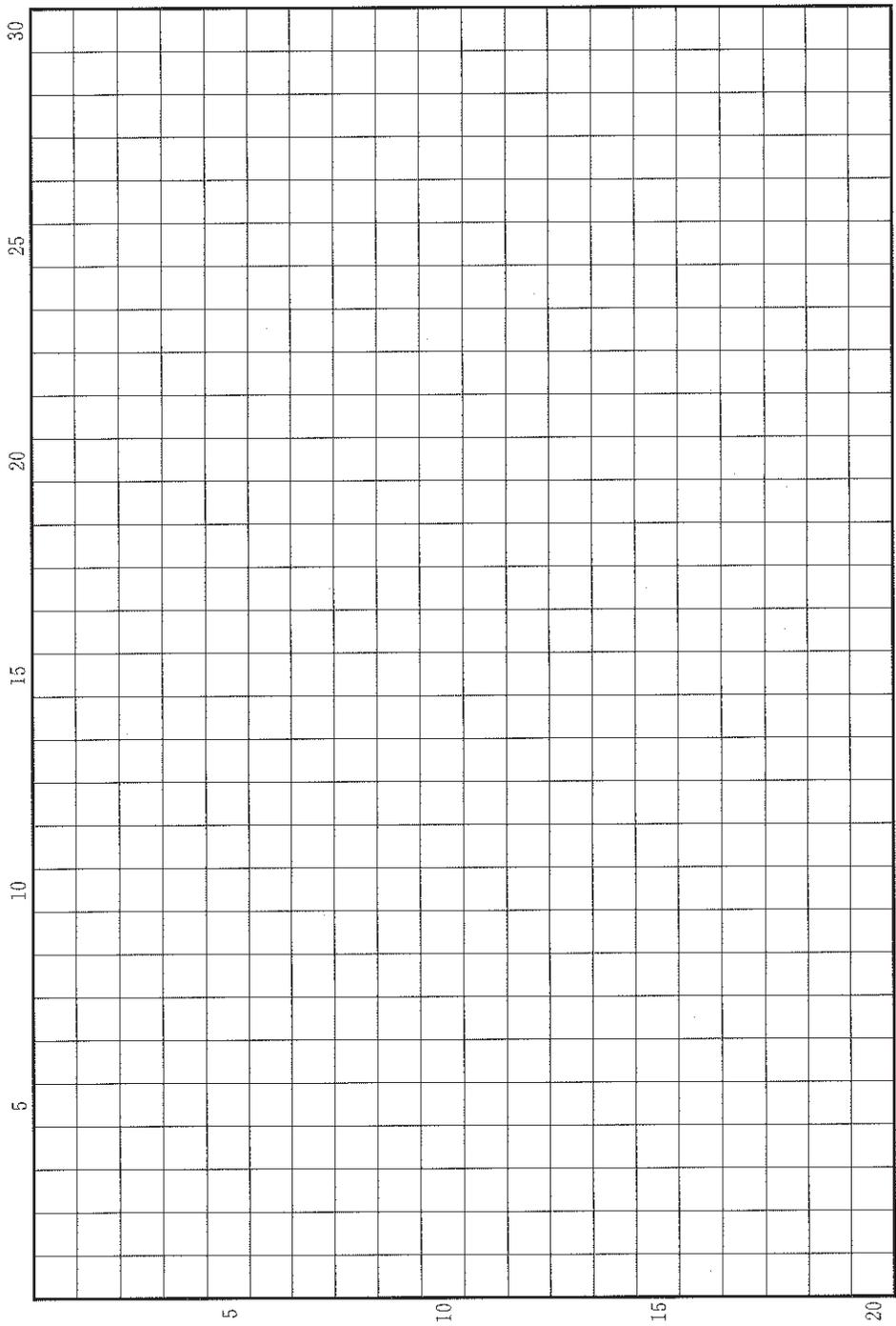
問(7) 清代に入ると、宋から明の学問の主流を批判し、訓詁学・文字学・音韻学などを重視し、精密な文献批判によって古典を研究する学問がさかんになった。この学問は、日本を含む近代以降の漢字文化圏における文献研究の基盤をも形成した。この学問の名を記しなさい。

問(8) 19世紀半ば頃イランでは、イスラーム教シーア派から派生した宗教が生まれ、農民や商人の間に広まった。この宗教の信徒たちは1848年にカージャー朝に対して武装蜂起したが鎮圧された。この宗教の名を記しなさい。

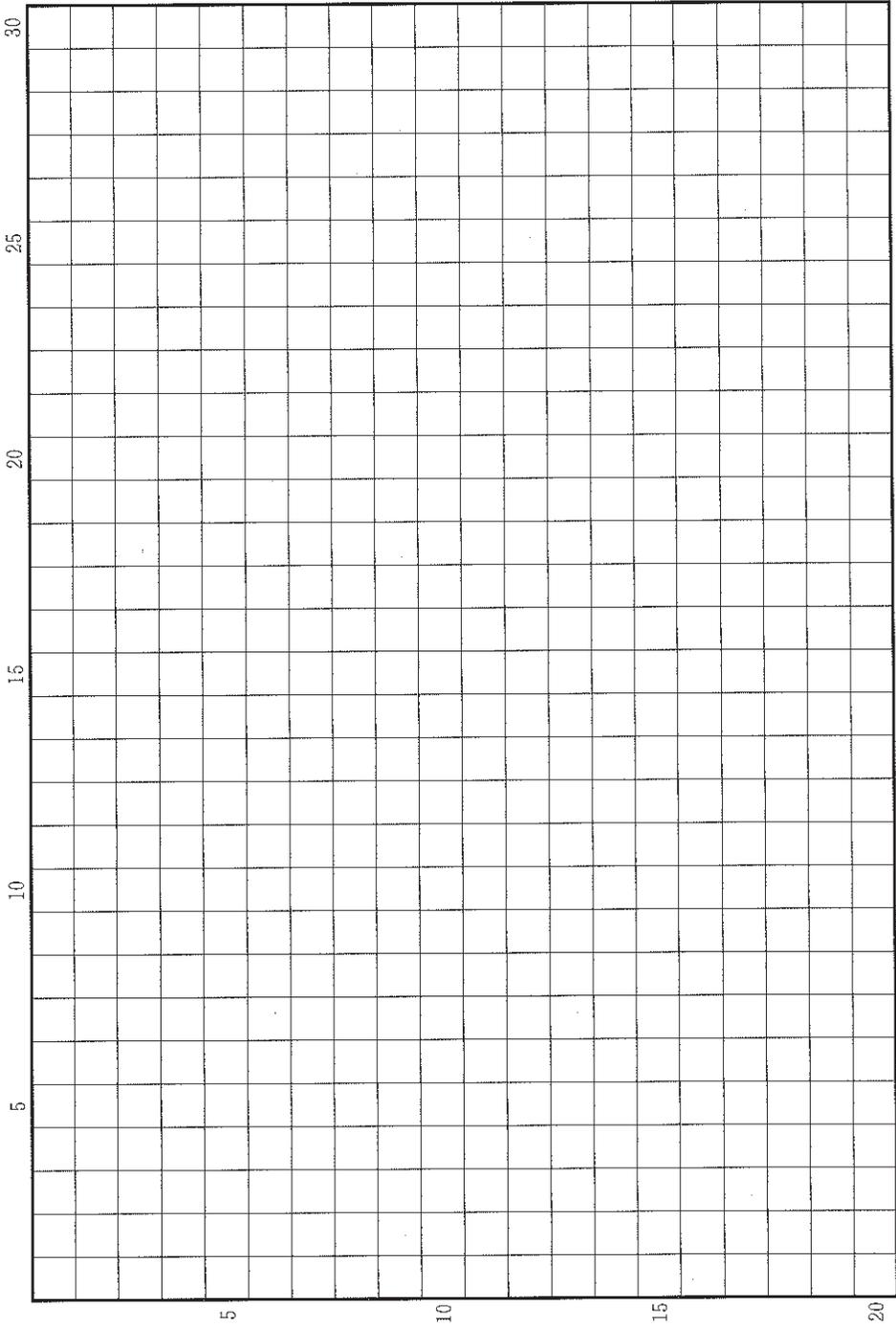
問(9) アダム＝スミスにはじまる古典派経済学は19世紀に発展し、経済理論を探究した。主著『人口論』で、食料生産が算術級数的にしか増えないのに対し、人口は幾何級数的に増えることを指摘して、人口抑制の必要を主張した古典派経済学者の名を記しなさい。

問(10) 19世紀から20世紀への転換期には、人間の精神のあり方について、それまでの通念を根本的にくつがえすような思想が現れた。意識の表層の下に巨大な無意識の深層が隠れていると考え、夢の分析を精神治療に初めて取り入れたオーストリアの精神医学者の名を記しなさい。

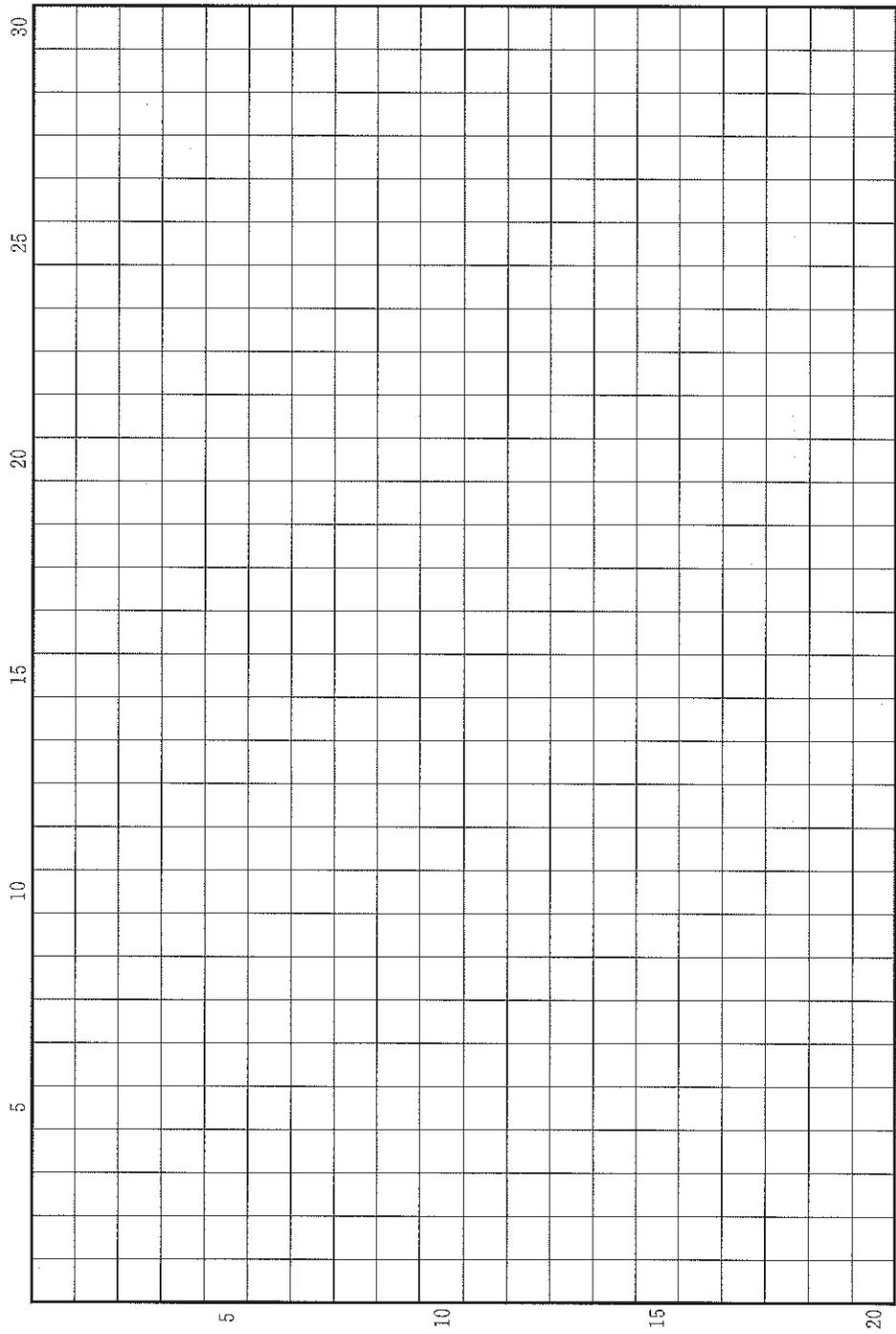
草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



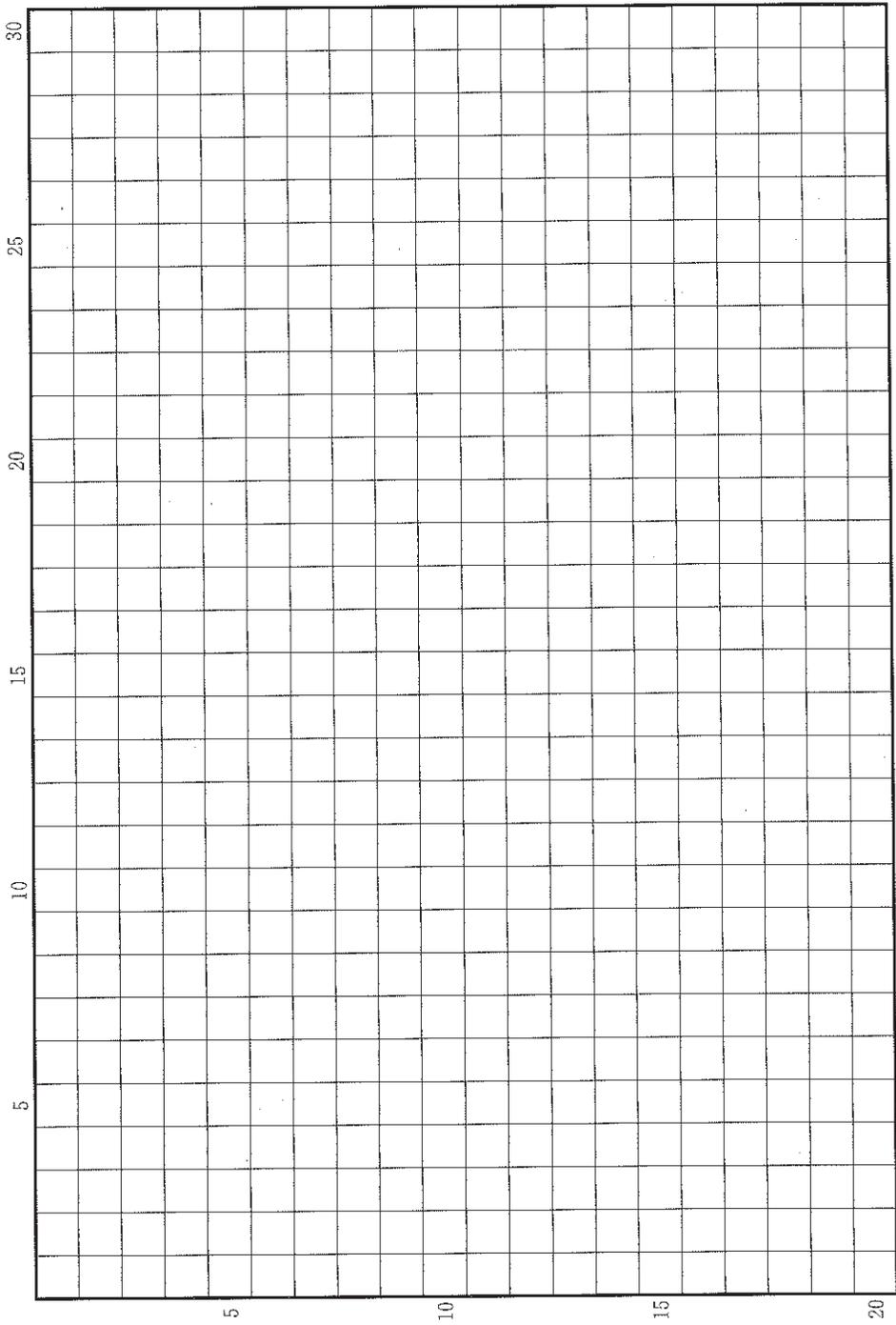
草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



地 理

第 1 問

日本列島の地形と自然資源利用に関する以下の設問 A～B に答えなさい。解答は、解答用紙の(イ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問 A

図 1—1 は日本列島の地形断面である。断面ア～ウの位置は、図 1—2 中の線分①～③のいずれかに対応している。各断面の左・右端は日本海・太平洋にそれぞれ面し、各断面の水平距離の縮尺は共通している。

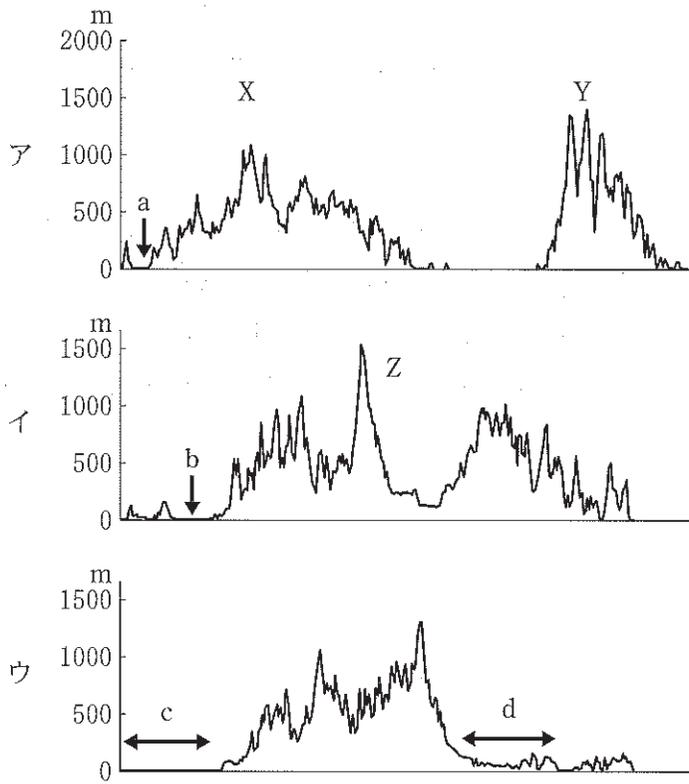
- (1) X 山地と Y 山地の地形的特徴の違いを述べるとともに、Y 山地でそのような特徴が生じた理由として考えられることを、以下の語句をすべて用いて、あわせて 2 行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

内的営力 外的営力

- (2) Z 山脈は、断面イにおいては、両側の山地とは大きく異なる形状を示す。その理由として考えられることを 1 行で述べなさい。
- (3) a と b は元来同じ環境であったが、b は 20 世紀半ばに人工的に形成された土地である。この大規模地形改変事業がなされた社会的背景を 1 行で述べなさい。

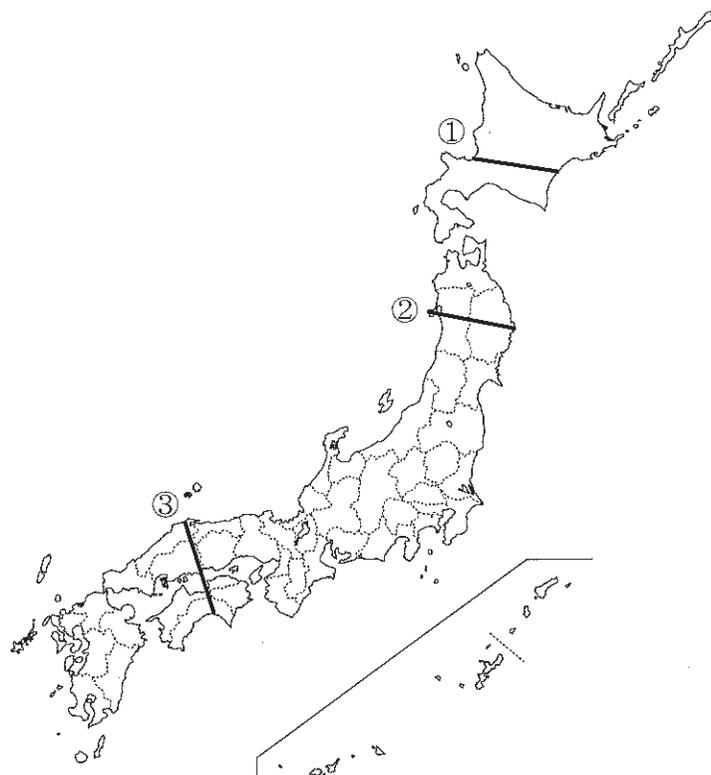
(4) c と d はいずれも大規模な平野であるが，卓越する地形が異なる。それぞれの平野で卓越する地形の名称と農業形態の特徴を，あわせて 2 行以内で述べなさい。

(5) 地形断面図は，水平方向よりも鉛直(高度)方向に拡張して描かれることが多い。ア～ウに共通した，水平方向に対する高度方向の拡張率は，おおよそ何倍程度と見積られるか，有効数字 1 桁で， $k \times 10^n$ 倍のように答えなさい。k は 1, 2, 5 のなかから選び，n には最も適した整数を記しなさい。



地理院地図(国土地理院)を用いて作成。

図 1-1



☒ 1—2

設問B

表1—1は、5つの県の土地利用についてまとめたものである。なお、可住地面積とは、総面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いた面積を意味する。また、 a は総面積 1 km^2 あたりの人口密度を、 b は可住地面積 1 km^2 あたりの人口密度をさす。

- (1) b/a の値が高い県のうち、和歌山県と高知県に共通してみられる地形的特徴を2行以内で述べなさい。
- (2) 高知県と香川県では、ある重要な資源をやりとりしている。資源の名称と、このようなやりとりが生じる理由を、この資源の供給と消費の両面から、あわせて3行以内で述べなさい。
- (3) 長野県と茨城県は、ともに農業生産の盛んな地域として知られており、レタスの生産量は全国1位と2位(2017年)であるが、出荷時期は大きく異なる。その理由を、地形的要因と経済的要因の両面から、あわせて2行以内で述べなさい。

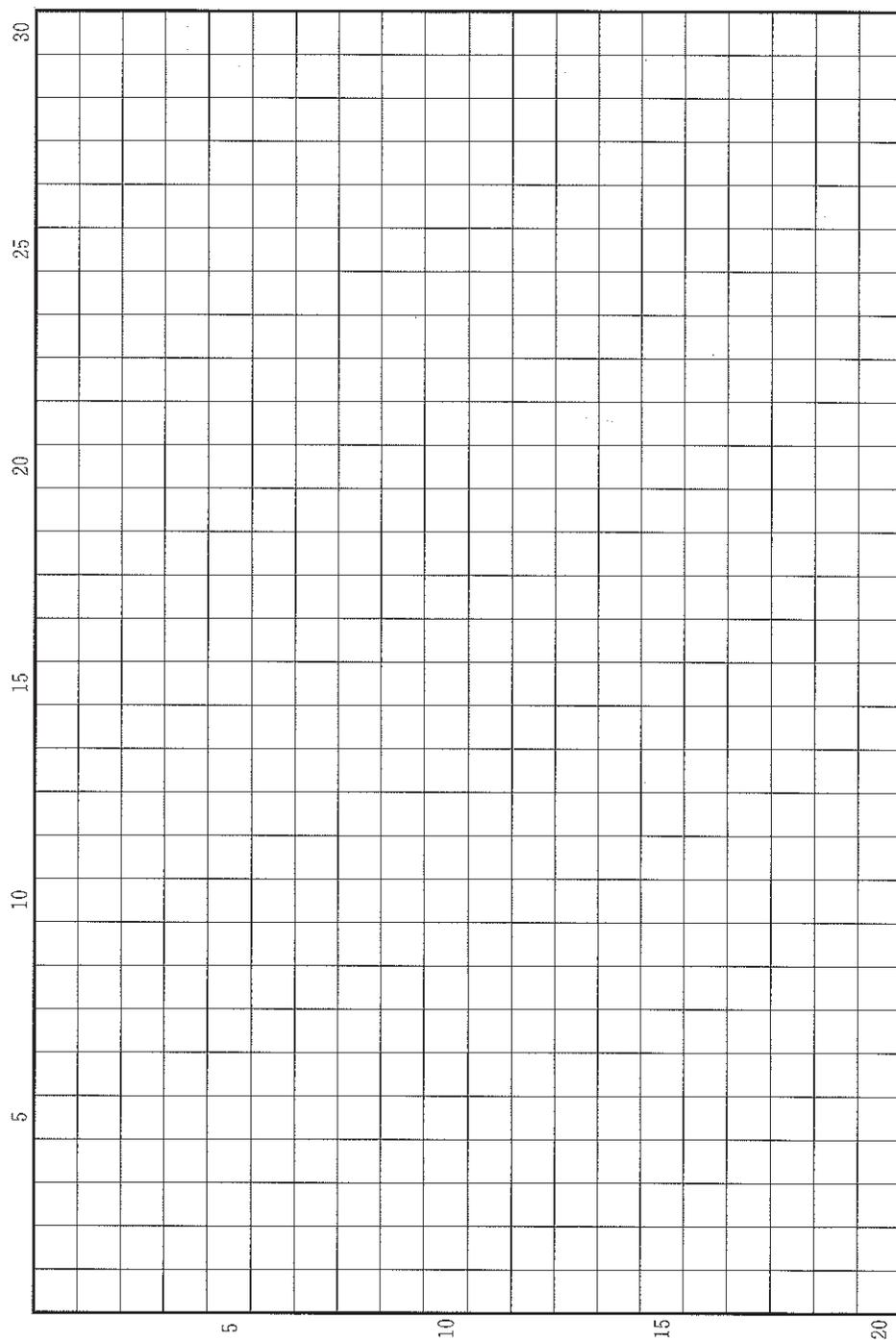
表1—1

(2017年)

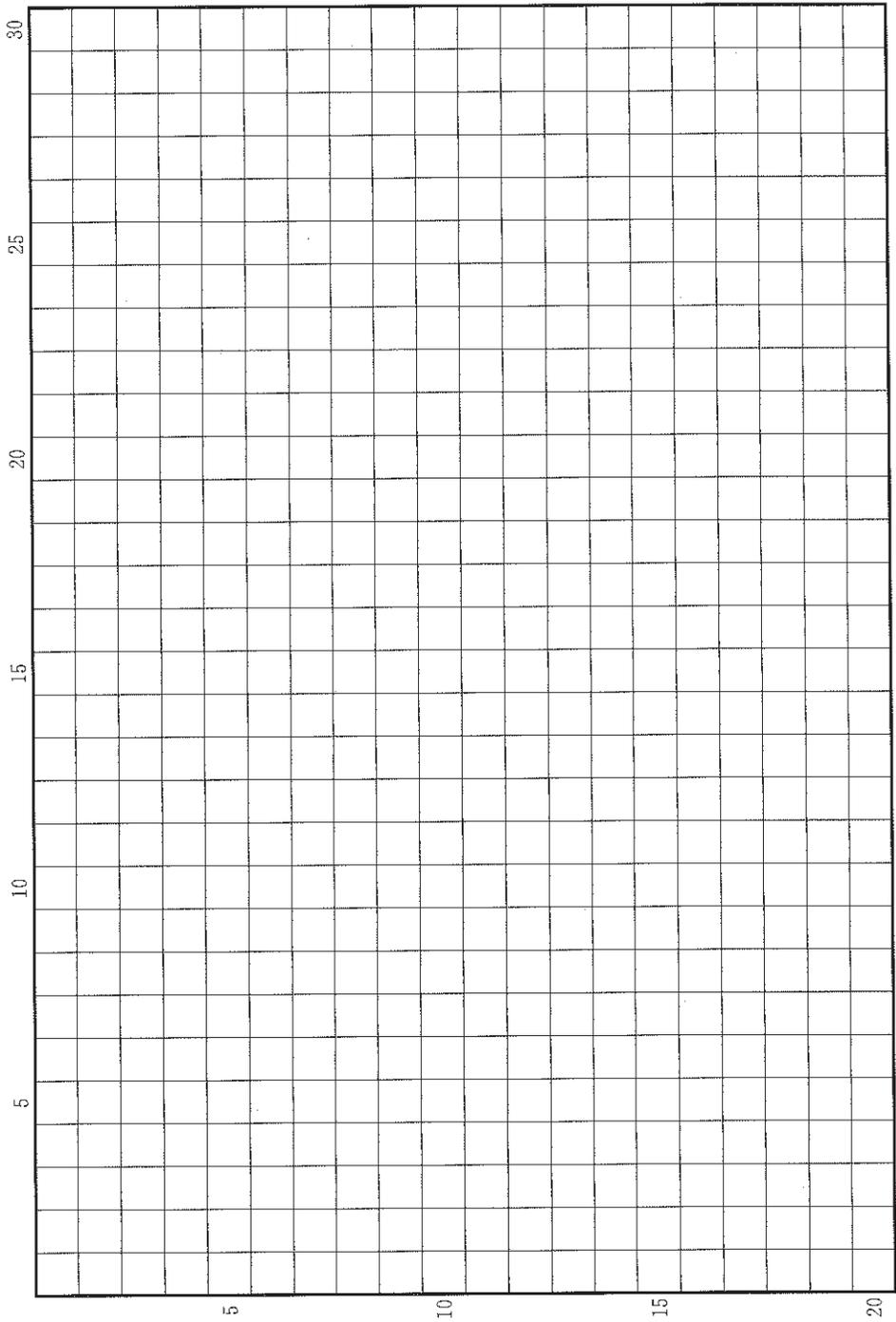
県名	総面積 1 km ² あたりの人口密度 a	可住地面積 1 km ² あたりの人口密度 b	b/a
長野	153	644	4.2
茨城	474	728	1.5
和歌山	200	848	4.2
香川	515	962	1.9
高知	101	614	6.1

総務省および農林水産省資料による。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 2 問

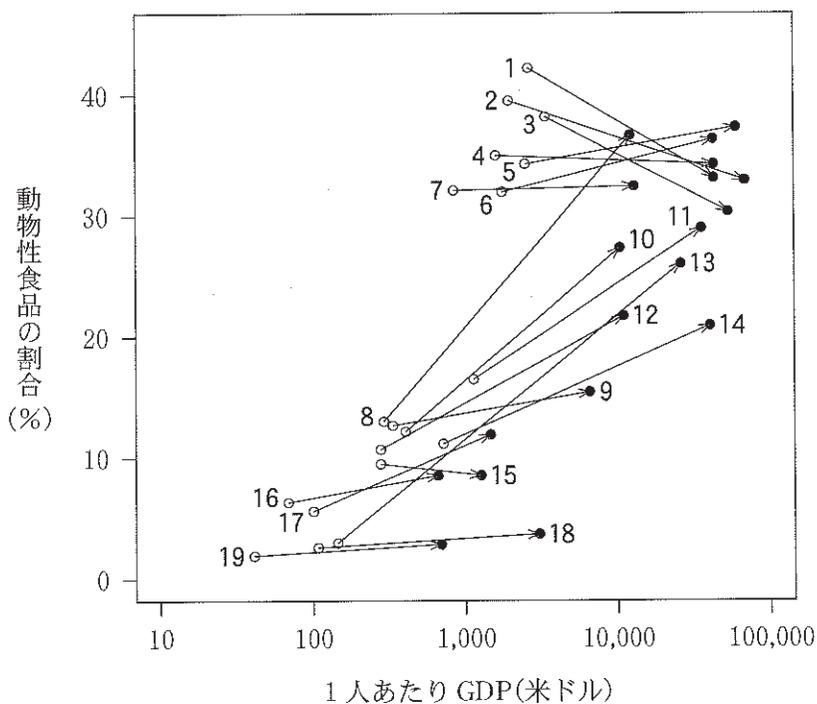
世界の食料の生産と消費に関する以下の設問 A～B に答えなさい。解答は、解答用紙の(口)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問 A

世界経済の成長とともに、人々の食生活に占める動物性食品の割合が増えつつある。図 2—1 は 1963 年(○)から 2013 年(●)にかけての、各国の経済状況を表す 1 人あたり GDP の伸びと、国民 1 人あたりのカロリー摂取量に占める動物性食品の割合の変化を表している。

- (1) 人々の食生活に占める動物性食品の割合が増えることで、陸上の自然環境に及ぶ悪影響を 1 つあげ、1 行で述べなさい。
- (2) 図 2—1 の 1～6 の国では、1963 年以降も経済が成長しているにも関わらず、動物性食品の割合はあまり増えないか減少している。その理由を 3 行以内で述べなさい。
- (3) 図 2—1 において、9 ペルーは、同じ南米の 7 アルゼンチンや 8 ブラジルとは異なる特徴を示している。その理由を 2 つ、以下の語句をすべて用いて、あわせて 4 行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

山岳地帯 食文化 農 業 民族構成



国名：1 ニュージーランド，2 オーストラリア，3 イギリス，4 アメリカ合衆国，
 5 スウェーデン，6 フランス，7 アルゼンチン，8 ブラジル，9 ペルー，
 10 メキシコ，11 イタリア，12 マレーシア，13 韓国，14 日本，
 15 ジンバブエ，16 ウガンダ，17 インド，18 ナイジェリア，19 ルワンダ。
 国連食糧計画および世界銀行資料による。

図 2—1

設問B

東南アジアは、世界の主要な米の生産・消費地域である。しかし、米の生産と消費のバランスは、国ごとに大きな違いがある。表2—1は、東南アジアの主要な米生産国について、生産量(a)、国内供給量(b)、生産量と国内供給量の差(生産量の過不足)(a-b)、国内供給量に対する生産量の比(自給率)(a/b)を、Ⅰ期(1969年—1973年の5年間の平均)、Ⅱ期(1989年—1993年の5年間の平均)、Ⅲ期(2009年—2013年の5年間の平均)の3つの時期について示したものである。なおここで、国内供給量は、生産量+輸入量-輸出量(ただし在庫分を補正)として定義される。

- (1) 表2—1に掲げた5カ国は、ベトナム、タイ、フィリピン、マレーシア、インドネシアである。A~Eの国名を、A—○のように答えなさい。
- (2) A国の自給率の水準とその推移にみられる特徴を、生産量・国内供給量の推移にふれながら、その背景とともに2行以内で述べなさい。
- (3) D国は、米の自給達成を国の目標としてきた。D国の自給率の水準とその推移にみられる特徴を、生産量・国内供給量の推移にふれながら、その背景とともに2行以内で述べなさい。

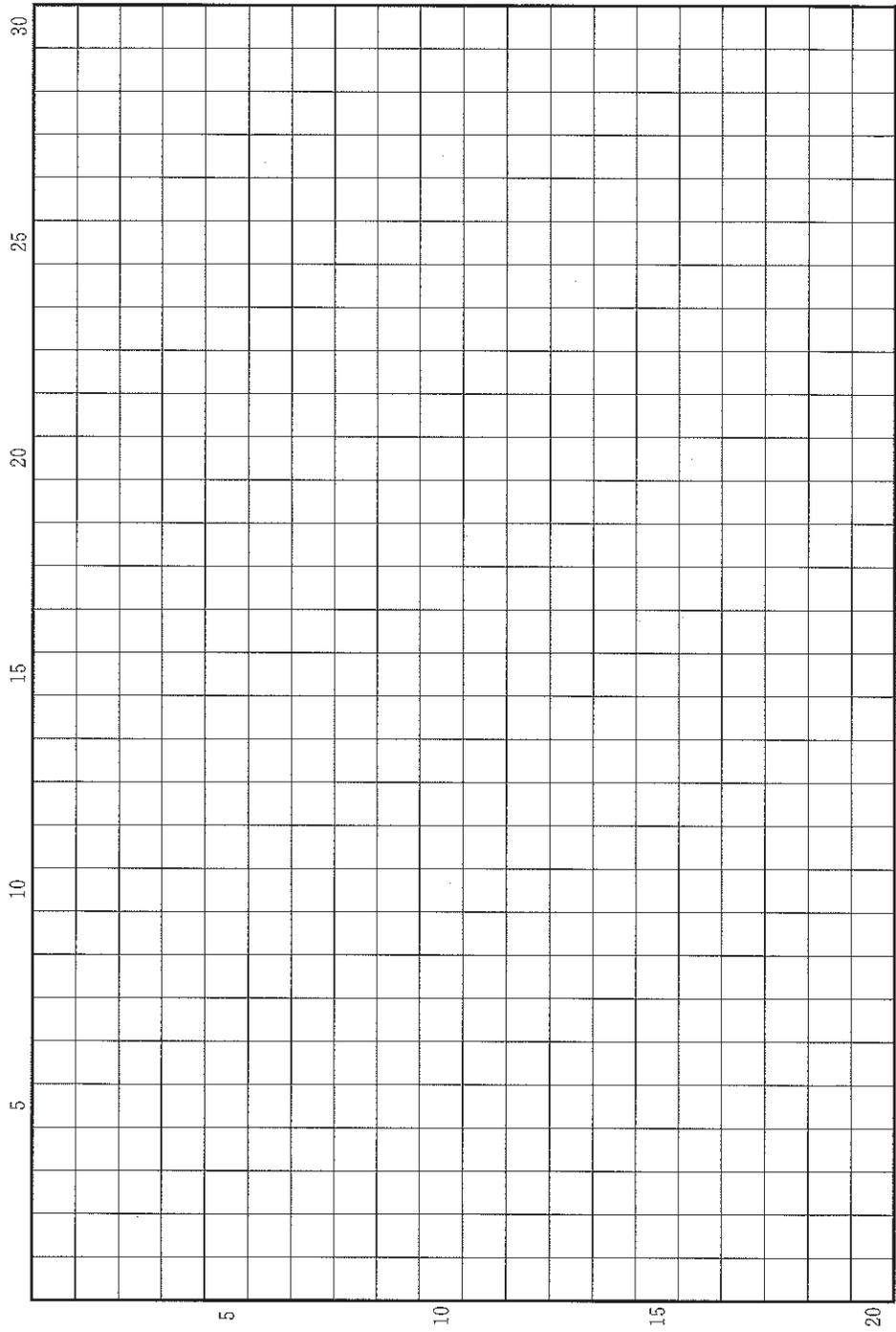
表2—1

		I期 1969—1973	II期 1989—1993	III期 2009—2013
A	a 生産量	1,188	1,290	1,702
	b 国内供給量	1,458	1,649	2,824
	a-b 過不足	- 270	- 359	- 1,123
	a/b 自給率	81 %	78 %	60 %
B	a 生産量	6,845	13,643	27,888
	b 国内供給量	7,526	12,225	20,659
	a-b 過不足	- 682	1,418	7,229
	a/b 自給率	91 %	112 %	135 %
C	a 生産量	9,113	13,026	23,503
	b 国内供給量	7,549	8,181	13,180
	a-b 過不足	1,564	4,844	10,324
	a/b 自給率	121 %	159 %	178 %
D	a 生産量	13,130	30,817	44,951
	b 国内供給量	14,058	30,727	44,929
	a-b 過不足	- 928	90	22
	a/b 自給率	93 %	100 %	100 %
E	a 生産量	3,487	6,398	11,365
	b 国内供給量	3,608	6,600	12,639
	a-b 過不足	- 121	- 202	- 1,274
	a/b 自給率	97 %	97 %	90 %

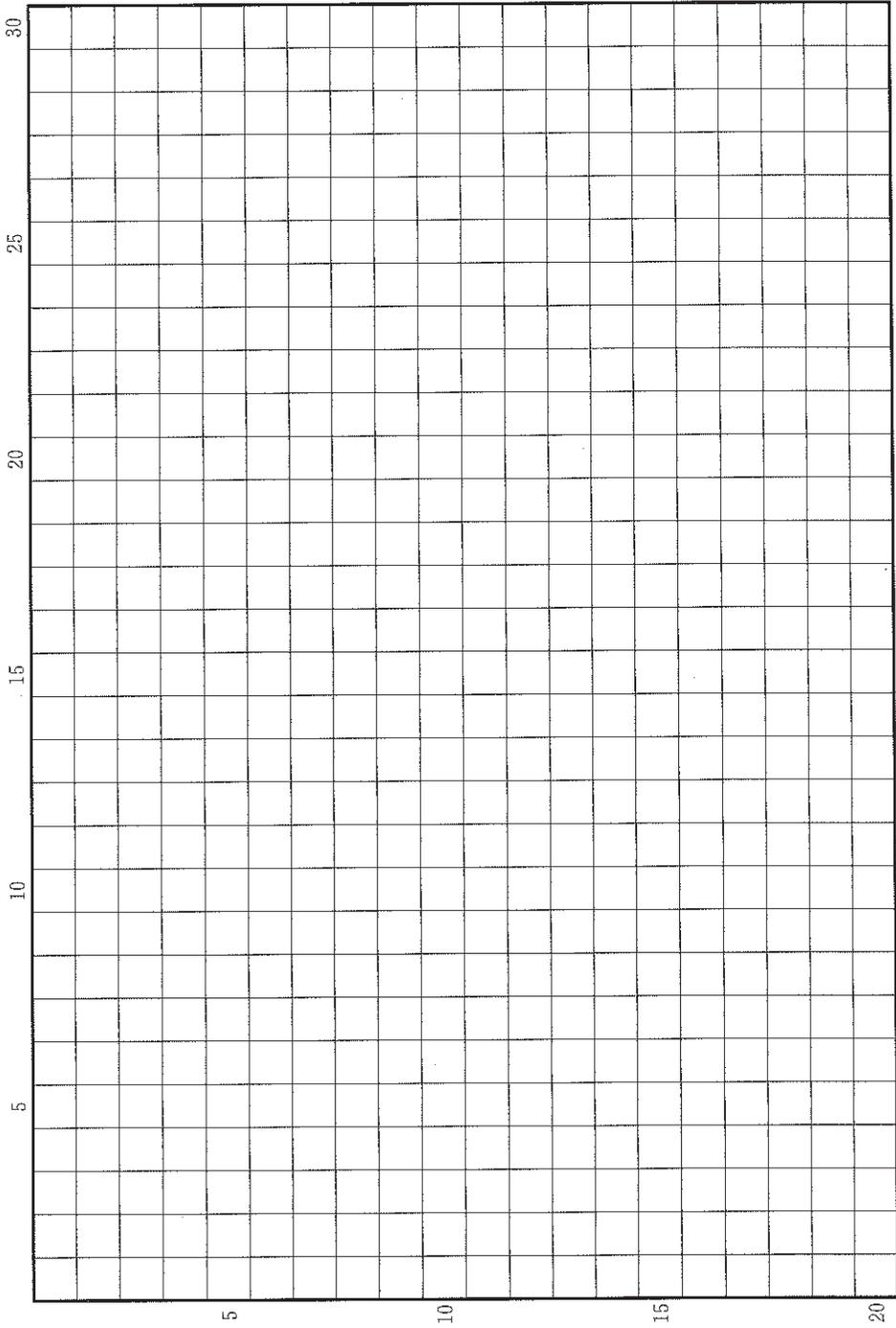
単位：1000 トン(精米換算)

FAO 統計による。

草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



草稿用紙 (切り離さないで用いよ。)



第 3 問

ドイツと日本の人口の動向に関する以下の設問 A～B に答えなさい。解答は、解答用紙の(ハ)欄を用い、設問・小問ごとに改行し、設問記号・小問番号をつけて記入しなさい。

設問 A

表 3—1 は、ドイツの州別の人口増減率と 2016 年時点の州別人口を示したものである。

(1) 次の文は、ドイツの 3 つの州について、それぞれの特徴を説明したものである。ア～ウは、表 3—1 および図 3—1 の番号 5, 6, 16 のいずれかである。該当する州の番号をア—○のように答えなさい。

ア この州は、豊富な石炭資源をもとに、製鉄や化学といった重化学工業を中心とした工業都市が東西に連なり、コナベーションを形成していた。現在は、ライン川沿いの都市群が南北軸を形成し、ヨーロッパにおける重要な中心地の 1 つになっている。

イ この州は、エルベ川の上流部に位置し、19 世紀はドイツ工業の中心地域の 1 つで、繊維工業が栄えていた。州内には、2 つの中心都市があり、1 つは古くから交通の要衝で見本市の開催地、商都として栄え、もう 1 つは現在の州都で、かつての王国の宮殿があり、両都市とも、世界各地から多くの観光客が訪れる。

ウ この州の人口の大半は、2 つの主要な河川にはさまれた平野部に集中している。国際空港があり、鉄道や高速道路の結節点にもなっている。州最大の都市は、欧州中央銀行の本部が置かれるなど、金融都市として栄え、ドイツでは珍しく超高層ビルが林立している。

(2) 1990年～2000年にかけて、どのような人口増減率の地域差がみられるか、その特徴と要因として考えられることを2行以内で述べなさい。

(3) 1970年代から1980年代にかけては、西部ドイツのなかで、人口増減率の南北格差がみられた。これに対し、2000年代以降になると、南北格差は顕著ではなくなっている。こうした変化がみられるようになった要因として考えられることを、以下の語句をすべて用いて3行以内で述べなさい。語句は繰り返し用いてもよいが、使用した箇所には下線を引くこと。

国際競争力 サービス経済化 産業構造

(4) 2000年～2010年と比べ、2010年～2016年には、ドイツの多くの地域で、人口減少から人口増加に転じたり、人口減少率が小さくなるといった変化がみられる。そうした変化の要因として考えられることを1行で述べなさい。

表 3—1

番号	州名	人口増減率(%)						人口(千人)
		1970年～ 1980年	1980年～ 1990年	1990年～ 2000年	2000年～ 2010年	2010年～ 2016年	2016年	
1	シュレースヴィヒ・ホルシュタイン	4.0	0.6	6.2	1.6	1.7	2,882	
2	ハンブルク	-8.3	0.4	3.8	4.1	1.3	1,810	
3	ブレーメン	-5.6	-1.7	-3.2	0.2	2.7	679	
4	ニーダーザクセン	1.9	1.8	7.3	-0.1	0.4	7,946	
5	ノルトライン・ヴェストファーレン	0.3	1.7	3.8	-0.9	0.3	17,890	
6	ヘッセン	3.2	2.9	5.3	0.0	2.4	6,213	
7	ラインラント・プファルツ	-0.5	3.3	7.2	-0.8	1.5	4,066	
8	ザールラント	-4.9	0.7	-0.4	-4.8	-2.1	997	
9	バーデン・ヴェルテンベルク	3.4	6.1	7.1	2.2	1.8	10,952	
10	バイエルン	3.5	4.8	6.8	2.5	3.1	12,931	
11	メクレンブルク・フォアポムメルン	0.8	-1.0	-7.7	-7.5	-1.9	1,611	
12	ベルリン	-4.7	12.6	-1.5	2.3	3.3	3,575	
13	ブランデンブルク	0.1	-3.1	0.9	-3.8	-0.3	2,495	
14	ザクセン・アンハルト	-4.4	-6.6	-9.0	-10.7	-4.2	2,236	
15	テューリンゲン	-1.1	-4.4	-6.9	-8.1	-3.4	2,158	
16	ザクセン	-4.5	-7.9	-7.1	-6.3	-1.6	4,082	
	ドイツ全体	0.4	1.7	3.1	-0.6	0.9	82,522	

表中の州名の番号は、図 3—1 の番号と対応している。

ドイツ連邦統計局資料による。

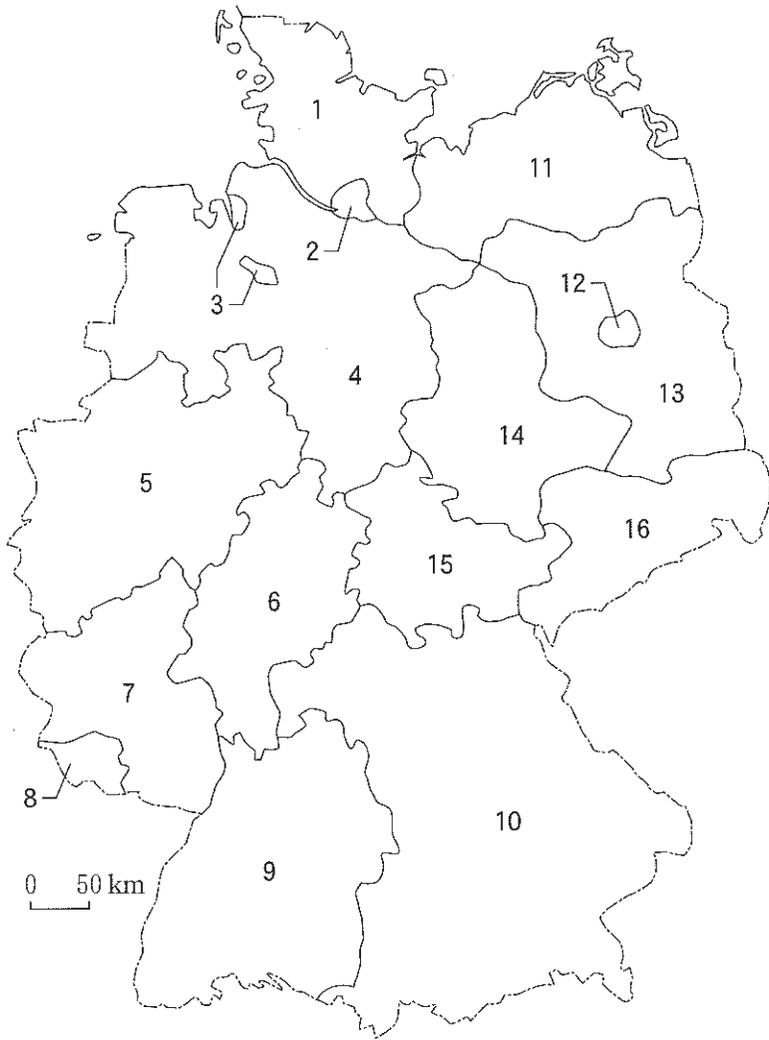


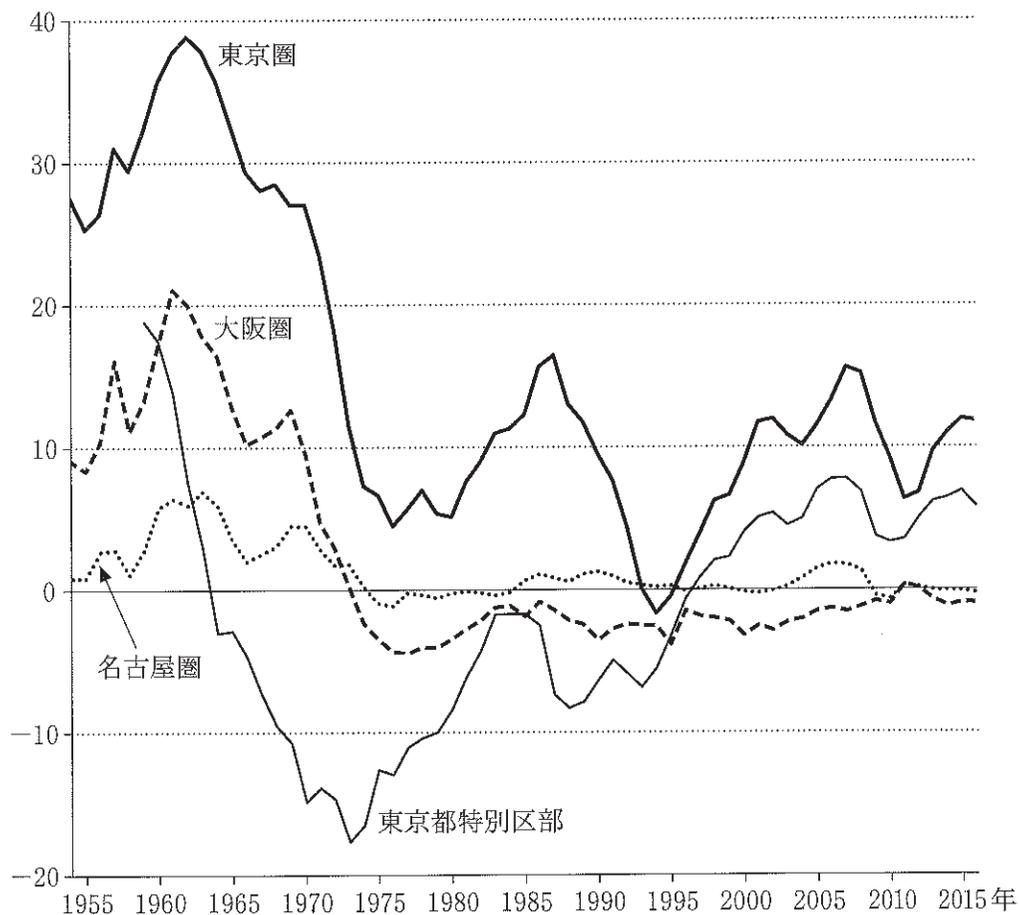
图 3—1

設問B

図3—2は、三大都市圏と東京都特別区部の転入超過人口の推移を表したものである。三大都市圏とは、東京圏(東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県)、名古屋圏(岐阜県・愛知県・三重県)、および大阪圏(京都府・大阪府・兵庫県・奈良県)である。

- (1) 1960年代前半をピークに、人口が三大都市圏に集まってきた理由を、産業構造の変化と産業の立地の観点から、2行以内で述べなさい。
- (2) 三大都市圏における転入超過人口の動向が、1980年代以降、都市圏間でどのように異なっているか、その理由として考えられることとあわせて、3行以内で述べなさい。
- (3) 図3—2は、1990年代初めを境として、東京圏内部における人口分布の空間構造が変化していることを示唆している。その内容を2行以内で述べなさい。

転入超過人口(万人)



住民基本台帳人口移動報告による。

図3—2